情報解禁日時：2026年11月25日10時

報道関係各位

プレスリリース

2026年11月25日

株式会社マルチブック

マルチブック、
「経理業務のAI活用ガイドブック」を無料公開

海外拠点の経理業務を効率化するAI活用例9選と、
BPOでの作業時間76.2%削減などの実績を紹介

グローバルAI ERP「multibook」を提供する株式会社マルチブック（本社：東京都品川区、代表取締役社長：渡部 学、以下「当社」）は、海外拠点を管理する本社経理部門向けに、お役立ち資料「経理業務のAI活用ガイドブック」を、2026年11月25日より無料で公開しました。

本資料では、海外拠点の経理業務におけるAI活用の考え方を整理し、AIに任せられる業務と人が判断すべき業務を具体的に解説しています。

さらに、2026年11月10日に提供を開始した multibook のAIチャット機能を使った9つの活用例に加え、当社のBPO（経理業務の受託）における作業時間76.2%削減など、3つのAI活用実績を紹介しています。経理部門がAI活用を始めるための実践的なガイドブックです。



情報解禁日時:2026年11月25日10時

multibook

■背景

海外拠点を管理する本社経理部門では、業績の変動分析や仕訳内容の確認、決算前の点検など、多くの確認業務が発生しています。しかし、拠点ごとのデータや言語の違い、時間的な制約などにより、十分な確認が難しいケースがあります。

こうした課題に対し、生成AIを活用することで、データの集計・分析や異常の発見、報告資料の作成などを効率化できる可能性があります。一方で、会計データの機密性やAIの回答精度への懸念は、導入を検討する際の課題になります。

当社は、経理部門が安全かつ効果的にAIを活用するための考え方と具体的な方法をまとめ、本資料を作成しました。

■本資料の特長

- 【経理業務におけるAI活用の考え方】AIに任せられる作業と、人が判断すべき業務を整理し、海外拠点の経理業務でAIを活用するための基本的な考え方を解説しています
- 【multibook のAIチャット機能を使った9つの活用例】会計データの照会・分析、仕訳の確認など、具体的な質問例とデモ環境の実際の画面を通じて、AIの活用方法を紹介しています
- 【BPOの現場でのAI活用実績3事例】月次クロージングの作業時間76.2%削減や、BS科目明細照合の自動化率80%など、当社のBPOでの実際の業務改善の成果を紹介しています



本資料の利用例のページ（イメージ）

■BPOでのAI活用実績（本資料の第6章より）

- 【実績事例1　月次の会計異常の検知】海外に複数の子会社を持つ企業グループで、子会社の仕訳を毎月すべてAIで判定し、確認が必要な取引を「要対応／注意／通常」の3段階で、伝票番号つきで挙げる仕組みにしました。過去12か月分の伝票で検証し、判定に使った集計値が各社の財務諸表と一致することを確認しています

- 【実績事例2　月次のBS科目明細の照合】東南アジアに複数の拠点を持つ企業グループで、国ごとに数十項目あるBS照合のチェックリストをAIの作業手順に組み込み、AIが全項目を「PASS／FAIL／要確認」で判定する形にしました。担当者は「要確認」の項目だけを判断します。チェック項目ごとの所要時間を手作業のときと比べ、自動化率は作業時間ベースで80%（拠点の平均）、作業時間は月20時間減りました

- 【実績事例3　月次クロージング（記帳・監査調書）】東南アジアに拠点を持つ企業グループで、監査調書の作成を含む月次クロージングを細かいステップに分け、ステップごとの作業時間を実測したうえで、AIが担う工程と人が判断する工程を分けました。手作業で月128時間かかっていた作業時間は、導入後の実測で月30.5時間（76.2%削減）になりました

※3つの事例は、それぞれ別のお客様・別の業務での実績です。お客様が特定されないよう、社名・社数・拠点数は公表していません。いずれも当社BPOのチームによるAI活用の実績で、AIチャット機能の利用による実績ではありません。

■収録内容（抜粋）

- 第1章　経理の確認業務が、後回しになる理由
- 第2章　AIで、確認業務はこう変わる
- 第3章　経理がAIに感じる4つの不安
- 第4章　multibook の AIチャット機能を安心して活用するために
- 第5章　すぐ使える9つの利用例（例：経営者の急な質問に根拠つきで答える／売掛金残高の推移から確認が必要な取引先を見つける／税務調査の指摘への回答に必要な会計データの確認と、回答の下書き作成　など）
- 第6章　実績事例：確認と締めは、ここまで変わった（BPOでのAI活用実績3事例）
- まとめ

■こんな方におすすめ

- 海外拠点の業績確認や仕訳チェックに時間がかかっている本社経理部門の方
- 経理業務へのAI導入を検討しているが、具体的な活用方法が分からない方
- AIによる業務効率化を進めながら、会計データの正確性や情報セキュリティも確保したい方

■multibook の AIチャット機能

当社は2026年11月10日、グローバルAI ERP「multibook」でAIチャット機能の提供を開始しました。本資料は、同機能を経理の確認業務でどう使うかを、具体的な活用例で紹介するものです。

AIチャット機能では、multibook に登録された会計データに、ふだんの言葉で質問し、照会・分析できます。仕訳情報を参照する回答では、伝票番号などから元のデータを確認できます。多言語に対応し、質問した言語で回答するため、日本本社と海外拠点がそれぞれの言語で同じ会計データを確認できます。また、現地担当者への確認依頼文の作成を支援します。

参照するのは multibook のユーザー権限の範囲内のデータのみで、入力した質問や会計データがAIの学習に使われることはありません。

■資料の入手方法

本資料は、当社公式ウェブサイトの専用フォームから無料でお申し込みいただけます。

お申し込みはこちら（無料）：https://www.multibook.jp/whitepaper/accounting-ai-guide

---

■グローバルAI ERP 「multibook」概要

「multibook」は、海外拠点を持つ企業の経営管理を支援するグローバルAI ERPです。多言語・多通貨・複数帳簿に対応し、会計、販売・購買・在庫、固定資産、リース資産管理を一元的に管理できます。

契約書のAI-OCR読取、仕入先請求書のAI自動仕訳、AIチャットなどの業務効率化機能を提供しています。日本の新リース会計基準にも対応し、世界40カ国以上・950社以上の導入実績があります。

対応言語：13言語

URL：https://www.multibook.jp/

情報解禁日時:2026年11月25日10時

■株式会社マルチブック 会社概要

会社名：株式会社マルチブック

代表者：代表取締役社長 渡部 学

設立：2000年9月

本社：東京都品川区西五反田1-1-8 NMF五反田駅前ビル5階

海外拠点：シンガポール・タイ・フィリピン

事業内容：グローバルAI ERPサービス「multibook」等の企画・開発・提供

URL：https://www.multibook.jp/

本件に関するお問い合わせ先
株式会社マルチブック　梅野
TEL:090-5209-4857　MAIL: haruka.umeno@multibook.co.jp